

富山県「くすり政策課」が21年の歴史に幕 組織再編で「薬事指導課」と「くすり振興課」に 相次ぐ不適切製造受け、規制と振興に分離

(一社) 日本置き薬協会

資料1 富山県厚生部くすり政策課 歴代課長と就任年度 *は厚労省出向

初代	加藤祐一	平成 14	*	2代	山崎友道	平成 15, 16
3代	吉田易範	平成 17	*	4代	前多隆志	平成 18
5代	中山智紀	平成 19, 20	*	6代	高田吉弘	平成 21
7代	紀平哲也	平成 22, 23	*	8代	齋藤尚仁	平成 24
9代	清原宏真	平成 25	*	10代	上出 功	平成 26
11代	坂西義史	平成 27, 28	*	12代	田中達也	平成 29
13代	塩川智則	平成 30	*	14代	菊地正寛	平成 31
15代	青柳ゆみ子	令和 2, 3	*	16代	石田美樹	令和 4

資料2 富山県医薬品生産額(単位百万円)の推移(薬事工業生産動態統計より)

平成 25 年	608916	全国 3 位	埼玉、栃木、富山、大阪、東京、神奈川
平成 26 年	616256	2	埼玉、富山、大阪、静岡、東京、神奈川
平成 27 年	660252	1	富山、東京、大阪、静岡、埼玉、神奈川
平成 28 年	621845	1	富山、東京、大阪、静岡、埼玉、神奈川
平成 29 年	654037	2	静岡、富山、大阪、埼玉、東京、埼玉
平成 30 年	624625	2	静岡、富山、大阪、栃木、東京、埼玉
令和元年	693705	4	埼玉、栃木、静岡、富山、滋賀、兵庫
令和 2 年	660892	4	埼玉、栃木、静岡、富山、山口、滋賀
令和 3 年	620412	5	埼玉、栃木、静岡、山口、富山、滋賀

◎アンダーラインは 6,000 億円以上

以下、薬日新聞 2 月 27 日号を転載

富山県は新年度組織再編で、現在、厚生部にあるくすり政策課を廃止し、4月1日から新たに薬事指導課とくすり振興課をスタートする。2月17日の会見で新田八郎知事が明らかにした。

富山県内製薬企業において2021年以降に業務停止命令に至る不適切製造が相次いだことを受け、医薬品の安全性・品質管理を担当する部門と、薬事振興を図る部門に分離して、それぞれの機能を強化するという。2009年4月1日に当時の薬務食品課と薬業振興課が統合されて誕生したくすり政策課は21年の歴史に幕を閉じた。

薬事指導課は医薬品の安定供給を確保するための監視指導及び規制等の業務を担当し、企画係、薬事係、指導第一係、指導第二係の4係4部門で編成。

くすり振興課は産官学でつくる「くすりのシリコンバレーTOYAMA」(*1)創造コンソーシアム(*2)に関する業務などの振興開発を担う。企画・振興係、くすりコンソーシアム推進班の1係1班で編成。

*1 医薬品産業の振興と「キラリと光る大学づくり」を目指し、産官学が提携して医薬品分野の研究開発や人材育成・確保に取り組む

*2◎産官学連携の構成は富山大学、富山県立大学、富山県(薬事総合研究開発センター)、富山県薬業連合会

◎「世界水準の医薬品の研究開発の推進」、「グローバル化に対応した医薬品産業を支える専門人材の育成・確保」を通じて「富山県医薬品一兆円産業の実現」